

2017年

3月

March

交流コーナーだより



Koryu
Corner
News



災害時におけるSenTIAの取り組み

公益財団法人 仙台観光国際協会 (SenTIA)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 A棟11階

TEL : 022-268-6260 FAX : 022-268-6252

EMAIL : plan@sentia-sendai.jp

【交流コーナー】

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL : 022-265-2471 FAX : 022-265-2472

EMAIL : koryuc@sentia-sendai.jp

3月の交流コーナー休室日

3月13日 (月) ~15日 (水)、29日 (水)

※休室日は変わることがあります。ウェブサイトでご確認ください

SenTIA Information

交流コーナー休室のお知らせ

交流コーナー内図書室の蔵書点検に伴い、下記の通り休室します。

交流コーナー全体 休室日

3月13日 (月) ~3月15日 (水) の3日間

※交流コーナー直通電話 (022-265-2471) と通訳サポート電話 (022-224-1919) もご利用頂けません。

交流コーナー内図書室 閉室日

3月16日 (木)

※図書貸出はできません。返却のみ受付します。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

Give Awayのお知らせ

交流コーナー図書室での保存期限の過ぎた図書や雑誌、海外の新聞などをご自由にお持ち帰りいただけます。(英字新聞はお1人15部まで)

3月27日 (月) ~4月2日 (日)



Event Information

外国人の子ども・サポートの会 春季公開研修会、 MIA外国籍の子どもサポータースキルアップ研修会 「非漢字圏から来日した生徒のための教材と使い方」

日時：3月11日（土）10：00～16：30

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

対象：どなたでも 参加費：500円

主催：外国人の子ども・サポートの会

共催：（公財）宮城県国際化協会（MIA）

申込：外国人の子ども・サポートの会（田所）

TEL：090-2793-8899 jets@sda.att.ne.jp

またはTEL：022-275-3796 mail@mia-miyagi.jp（MIA）

仙台防災未来フォーラム2017

—経験を伝える・共有する・継承する—

日時：3月12日（日）10：00～18：00

場所：仙台国際センター展示棟

対象：どなたでも 参加費：無料

※プログラムによっては要事前申込

主催：仙台市

問合せ：仙台防災未来フォーラム2017運営事務局

<http://sendai-resilience.jp/mirai-forum2017/>

「知っているようで知らない」外国人の社会保障制度

日時：3月18日（土）14：00～16：00

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室A B

対象：どなたでも

事前申込必要なし、直接会場へ

参加費：宮城華僑華人女性联谊会会員無料、一般200円

主催：宮城華僑華人女性联谊会

問合せ：eliza0619@gmail.com（裘 きゅう）

SenTIA補助事業

ポルトガルアズレージョ(タイル) ワークショップ

日時：3月25日（土）（下記2部どちらか選択）

午前の部10：30～12：30、午後の部13：30～15：30

場所：青葉区大町2丁目9-13ライオンマンション西公園903

対象：どなたでも 定員：各6名（先着順）

申込み切：3月17日（金） 参加費：5,000円（材料費等込）

主催：ブラジルカフェ仙台宮城

詳細はFacebook Eventos Brasil参照

申込/問合せ：valeriaharue@yahoo.co.jpまたは

brasilcafe.eventos@gmail.com TEL：080-5554-7522

交流コーナーでGlobal Talk!

～世界のはなしを聞いてみよう。モンゴル編～

日時：3月18日（土）17：00～18：30

場所：仙台国際センター交流コーナー 参加費：無料

対象：どなたでも（定員25名程度） ※要事前申込

申込期間：3月2日（木）～3月17日（金）17：00

主催/申込：仙台国際センター交流コーナー

022-265-2471 koryuc@sentia-sendai.jp

映画「火を噴く惑星」上映会

日時：3月26日（日）14：00～16：00

場所：仙台国際センター交流コーナー研修室

対象：どなたでも 参加費：500円（日ユ協会会員は無料）

主催/申込：日本ユーラシア協会宮城県連合会

022-263-4360 cheb@live.jp

祝・姉妹都市締結50周年

フランス&レンヌに触れる春！～ミニフランスフェア～

日時：4月1日（土）前夜祭 18：30～

4月2日（日）10：00～18：00（ミニ講座・ミマル江等）

場所：国際センター駅2階青葉の風テラス 対象：どなたでも

参加費：1日目/1,500円 2日目/無料（講座は別途実費）

主催：仙台サリ・レンヌの会 協力：リアリス・ワンズ仙台

申込/問合せ：salut-rennes@salut-paris.com 090-2884-2266

申込方法：講座受講は要予約（空いていれば当日参加可）



災害時の外国人支援の取り組みについて

東日本大震災から間もなく6年が経ちます。SenTIAでは仙台市が仙台国際センターに設置した「多言語支援センター」を発災当日から運営し、外国人被災者の支援にあたりました。今月号では災害時の取り組みについてご紹介します。

災害多言語支援センターとは

外国人は言語や文化の違いから、災害時に必要な情報が得られないことがあります。そこで仙台市では大規模災害が発生した際に多言語支援センターを設置し、外国人被災者が必要な情報を英語、中国語、韓国語、「やさしい日本語」など多言語で提供します。東日本大震災では震災発生当日から4月30日までの51日間、ブログやメールマガジン、ラジオでの多言語情報発信、多言語による相談対応を行いました。



←電話での相談対応の様子



東日本大震災発生時に活動したボランティア→

センターの運営を支えた市民ボランティア

東日本大震災での多言語支援センターの運営を支えたのは「災害時言語ボランティア」をはじめとする市民ボランティアでした。災害時言語ボランティアとは、地震や台風などの大規模災害が起こった際に日本語での情報を得にくい外国人を言語の面でサポートする市民ボランティアです。実用会話

が可能なレベルの語学力のある方が対象となります。

仙台市災害時言語ボランティアについて
<http://int.sentia-sendai.jp/j/volunteer/disaster.html>

もしもの時に備えて

SenTIAでは、6年前の経験や反省を踏まえ、定期的に災害多言語支援センターの設置運営訓練を行っています。2016年度は1月25日に実施し、災害時に外国人被災者に届ける情報について、あらためて考えました。今後は訪日外国人旅行客の増加も予想されることから、さらにきめ細かい情報提供が課題です。



※「仙台防災未来フォーラム2017」にSenTIAと宮城県国際化協会(MIA)が参加し「災害時の外国人支援～東日本大震災での経験とこれからの課題～」をテーマに、ブース展示とミニプレゼンテーションを行います。SenTIAやMIA以外にも国際協力機構(JICA)による途上国での防災・復興プロジェクトの発表などもあります。詳しくは「仙台防災未来フォーラム2017」のホームページ<http://sendai-resilience.jp/mirai-forum2017/index.html>をご覧ください。

We
Love
SENDAI

グーテン ターク!

Guten Tag!

ドイツ出身のユリア・ゲルスタです。博士論文の研究のため去年の12月に仙台に来ました。子供の頃から日本が好きで、日本に住むのは今回が3度目になります。初めて東京に1年間留学した時、2011年3月11日の東日本大震災が起こってしまいました。東京には被害があまりなかったけれど、テレビの映像、人々の混乱、両親の心配、そしてみんなの親切さを今もよく覚えています。当時は日本語力不足などのためボランティアとして東北に行くことができませんでしたが、一度ベルリン自由大学に戻った後で勉強を続けて、2013年から半年間東京の上智大学で再び留学生としての生活が始まりました。

2度目の日本生活では「東北からの声」というプロジェクトに参加し、ほぼ毎週末に夜行バスで被災地に行き、仮設住宅に住んでいる方にインタビューをしました。素敵な出会いや、印象に残っている貴重な話が沢山あって、ドイツ人だけではなくもっと国際的なレベルで色々な方々に震災の影響をわかってほしいと思い、現在博士課程で勉強しています。出会った方から聞いた話がきっかけで、博士論文のテーマは「東日本大震災の違う被害の被災地のコミュニティづくりへの影響、あるいはコミュニティの変化」になりました。

このコーナーでは、
仙台で国際活動をする市民が活動
紹介や仙台の魅力を伝えます!

その取材のために今東北大学の災害科学国際研究所に所属していて、よく福島、岩手、宮城の現場を見に行き、被災地に住んでいる方々へのインタビューを行っています。そこに住んでいない方は震災のことを忘れつつあるけど、その影響はまだ強く感じるし、次の災害はいつどこで起こるか分からないし、経験者の話と記憶を語り継ぐのは大事だと思います。

しかし、今回は初めて仙台に住んでいる私には研究以外も色々な経験ができて、仙台が本当にすぐ大好きになりました。自然が多くて、雪も降って、今まで出会った人々もみんな親切で素敵! 出身地は3000人しか住んでいない南ドイツの島町で、もう8年間ベルリンに住んでいた私にはやっぱり仙台が今まで日本で一番住みやすい街です。そして文化も興味深いので、これからの季節の祭り、旅、出来事、生活をとても楽しみにしています。将来また仙台に住むことができたならとても嬉しいです。

ビス バルト

Bis bald!

2013年にボランティアと一緒に
名取市の関上地区の祭りで撮った写真です